

令和6年度 全国学力・学習状況調査の概要

藤井寺市教育委員会

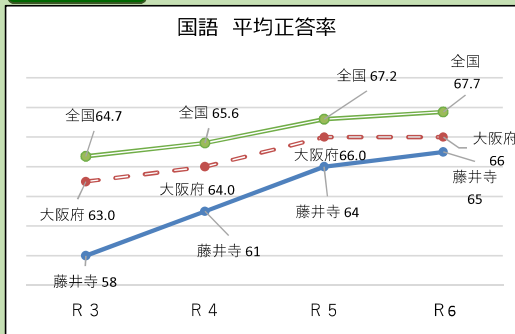
教科に関する調査の結果（小学校）

平均正答率（平均正答数）

教科	国語		算数	
藤井寺市	65	(9.1/14問)	61	(9.7/16問)
大阪府	66	(9.2/14問)	63	(10.0/16問)
全国	67.7	(9.5/14問)	63.4	(10.1/16問)

「全体の平均正答率」と「対全国との割合比較」

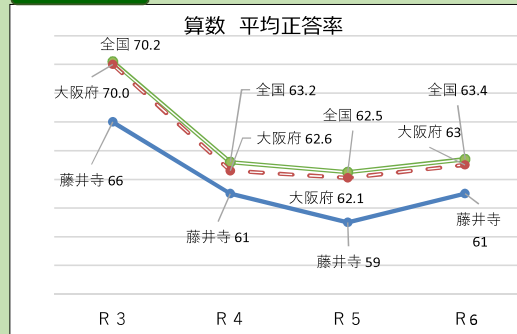
国語



各教科の傾向

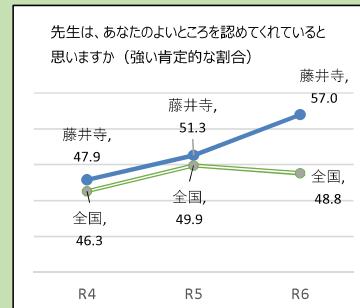
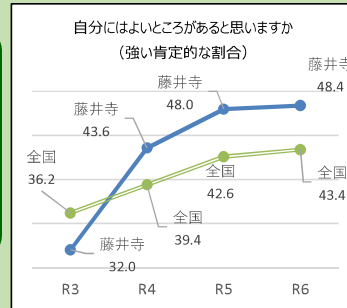
- ◆平均正答率は、国語、算数ともに全国平均、府平均を下回っている。
- ◆平均正答率を対全国比（全国を1とした時の割合）の経年変化で見ると、国語、算数ともに改善傾向にあり、全国水準に近づいている。
- ◆問題形式別にみた場合、国語の記述式問題に課題が見られる。

算数

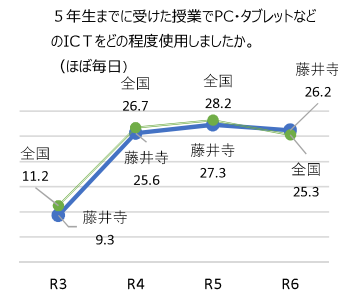


児童質問紙調査の結果（小学校）

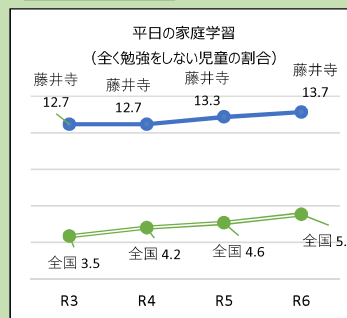
自己肯定感



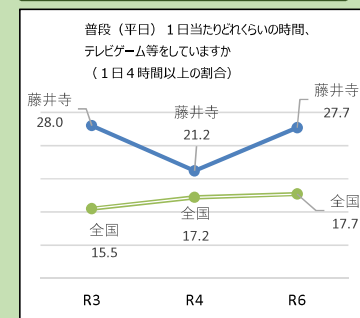
ICT活用



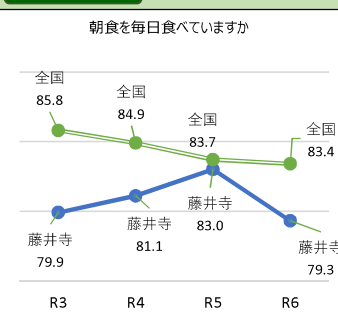
家庭学習



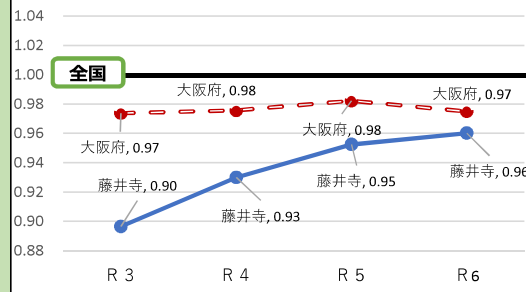
スクリーンタイム（ゲーム時間）



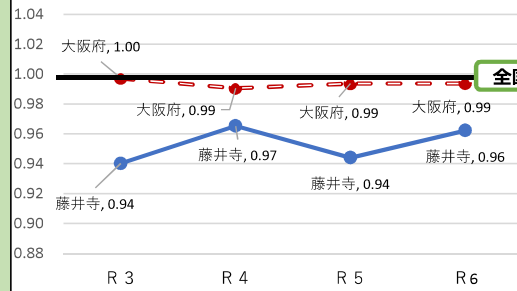
朝食



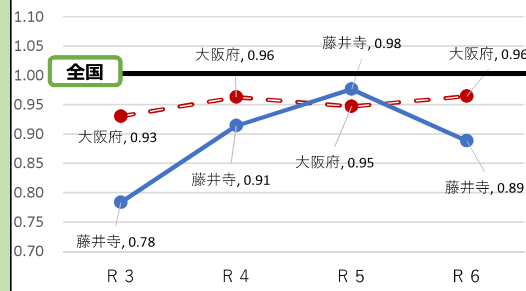
国語 対全国・大阪府の割合比較（全国1.00）



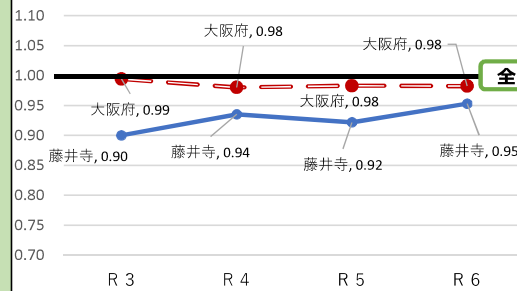
算数 対全国・大阪府の割合比較（全国1.00）



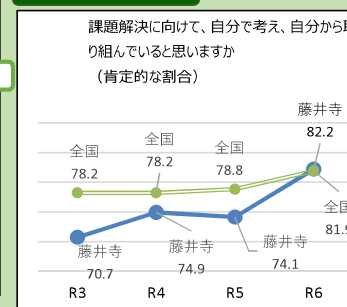
記述式問題対全国・大阪府（全国1.00）



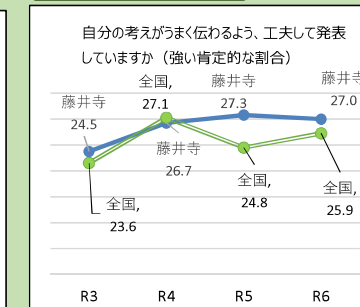
記述式問題対全国・大阪府（全国1.00）



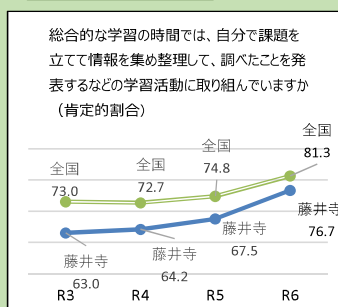
主体的に学ぶ力



アウトプットする力



探究的な学び



今年度の調査結果分析と取組について

質問紙調査から、「自分には、よいところがあると思いますか」の強い肯定的な回答が全国を大きく上回っています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に対する強い肯定的な回答が昨年度から増加するとともに、全国を大きく上回っています。各校での、子どもの自己肯定感を高める特色ある取組の成果が見られます。「ICTの活用」については、「ほぼ毎日」と回答した児童の割合が全国を上回りました。今後は、授業での積極的活用から効果的な活用への転換に向けて学校とともに取り組んでまいります。

一方で、継続して課題としている「平日に家庭学習を全くしない」児童の割合や、ゲームを1日4時間以上する児童の割合が全国を大きく上回っています。また、改善傾向であった、朝食の喫食率が低下したことも心配です。この課題解決に向けては、引き続き学校と家庭の協力のもと家庭学習の習慣化、授業内容と関連付けた宿題の提示やタブレットPCの活用など、主体的に学べるような取組の工夫が必要と考えています。

本市の学力向上の課題・指標としている「主体的に学ぶ力」については、昨年より大きく向上し、全国を上回りました。「アウトプットする力」については、引き続き全国を上回っています。また、総合的な学習の時間における「探究的な学び」にかかる項目の肯定的な回答が増加傾向にあり、全国との差も縮まっています。今後とも、誰もが大切にされる集団づくりをもとに、子どもが主体的に学ぶ姿、他者と協働して学び合う姿、未来に向けて学び続ける姿をめざして、学校とともに取り組んでまいります。

※対全国比（全国の平均正答率を1とした場合の、藤井寺市（大阪府）の平均正答率を割合で表したもの）